

令和3年9月8日

香美町長 浜 上 勇 人 様

香美町消防委員会

委員長 井 垣 義 和

香美町消防団組織等について（答申）

令和2年8月4日付、諮問第2号で諮問のあった標記のことについて、別紙のとおり答申します。

消防委員会答申

はじめに

本町における現在の消防体制は、第2次消防委員会による答申により組織と定数並びに消防施設整備の在り方について見直しがされ、1本部、3支団、32分団、68部の組織、団員数1,013名（基本団員965名、機能別団員48名）とされ、消防車両等については、消防ポンプ自動車7台、小型動力ポンプ付積載車21台、小型動力付軽積載車22台、小型動力ポンプ19台、指揮車3台の体制となり、現在に至っている。

しかしながら、消防団の懸命な団員確保の努力にも関わらず、多くの分団が定数を満たしていない状況にある。また、近年の少子高齢化や過疎化により新たな団員の確保が難しく、今後更なる団員数の減少が懸念される場所である。

このような状況にある消防団では団員の高齢化や活動内容の多様化等、様々な課題を抱えていることから、町長より「消防団組織と定数について」「消防団施設と装備について」「消防団員の処遇等について」の3点について諮問を受けた。

このことにより、本委員会において総合的な観点から香美町消防団の今後の在り方等について8回にわたり審議を重ねた結果を次のとおり答申する。

1 消防団組織と定数について

消防団は、大規模災害時の対応や身近な災害への取り組み等地域の安心・安全の確保のうえで不可欠な組織である。

しかしながら、本町の消防団では団員定数に満たない分団が多数であり、定数と実員数に乖離が見られる。

消防団の定数については、地域の実情を踏まえ実態にあった定

数とすべきであるが、安易に現在の実員数により見直しを行えば地域における消防力が衰退し、迅速かつ安全な消火活動等を行うことが困難となると考えるため、必要な消防力を確保する中で見直しを行った。

検討に当たっては、過去の見直し状況、団員の減少状況、消防団及び各区自治会からの意見等を聞き審議を行った。

見直し後の組織は、1本部、3支団、27分団（5分団減）、60部（8部減）、定数は、基本団員891人（74人減）、機能別団員56人（8人増）の計947人（66人減）とする。詳細な再編後の組織及び定数については、資料1のとおりとする。

なお、少子高齢化が進む中、若年層の新規加入が困難な状況も想定されることから、今後は昼間の火災時に出動ができる消防団経験者等による機能別団員を増員し、消防力の確保を図るとともに地域の自主防災組織との連携を強化していく必要がある。

2 消防団施設と装備について

消防団施設と装備については、組織と定数の見直しにより団員数が減少しても地域における消防力が衰退することのないよう配備していくよう努めなければならない。

市町村の区域における消防の責任を十分に果たすために必要な施設及び人員等については、「消防力の整備指針（平成12年消防庁告示）」に目標数値等が掲げられていることから、これらを参考として地域特性を勘案しつつ消防団からの意見を聞いたうえで審議を行った。

見直し後の消防車両等は、消防ポンプ自動車7台、小型動力ポンプ付積載車20台（1台減）、小型動力ポンプ付軽積載車22台、小型動力ポンプ12台（7台減）、指揮車3台とする。見直し後の車両及びポンプの配備は資料2のとおりとする。

なお、消防車両等の更新については、既存計画の更新期間であ

る20年を基本としつつ、財政状況等を考慮しながら行うものとする。

また、消防格納庫の建築費用については、現状どおり消防車両に係るものは町負担、小型動力ポンプに係るものは地元負担とする。

装備の検討に当たっては、消防団等充実強化法の規定を受け改正された「消防団の装備の基準」（昭和63年消防庁告示第3号）を参考に審議を行った結果、装備については、団員の夜間での安全確保を図るため、新たにヘルメットに装着可能なヘッドライトを配備する。

また、既存の計画では、機能別団員の服装は法被としていたが、機能別団員の増員に伴い、日中昼間の火災時に初期消火にあたっていただくためにも基本団員と同じ活動服や装備を配備することが望ましいと考える。見直し後の装備品の配備については、資料3のとおりとする。

なお、施設と装備の配備にあたっては町の財政面を考慮しながら優先順位を付け計画的に行っていくことが適当である。

3 消防団員の処遇等について

全国的に消防団員が減少し、今後も減少し続けるおそれがあることから、消防庁では令和2年12月から「消防団員の処遇等に関する検討会（以下「検討会」という。）」が開催され消防団員の適切な処遇のあり方についても議論がなされている。

また、令和3年4月には、検討会の中間報告として出動報酬の創設や、年額報酬及び出動報酬の基準の策定、報酬等の団員個人への直接支給の徹底等が示された。

本町の消防団の年額報酬は、検討会で示された標準額より低い支給額であるため、団員の処遇の改善を図るうえで財政的な面を考慮しながら可能な限り標準額に近づけ、支給方法についても分

団と協議を行い透明性を確保していくべきと考える。

また、団員の出勤に応じた成果的な報酬として新たに出動報酬を創設し、出勤の態様や業務の負荷、活動時間等を勘案し、標準額と均衡のとれた額となるよう改めるべきである。

行事等のあり方については、分団へのアンケート結果では、団員の高齢化や活動内容の多様化、地域における役員との重複等による団員の負担が増加しているとの意見があるため、スキルを落とさないように必要な訓練は行っていただきながら負担軽減を図れるよう消防団で検討する必要がある。

終わりに

消防団は地域社会を災害から守る中心的団体であるが、近年の少子高齢化等により団員数が減少し、今後も増員となることが見込まれない状況から、自主防災組織と相互の連携協力体制をより一層深めることにより、安全なまちづくり、魅力ある消防団づくりを進め、香美町の発展に寄与することを期待する。

香美町消防委員会委員

(敬称略)

- 会 長 井 垣 義 和 (香美町連合自治会会長)
- 副会長 田 村 正 明 (香美町連合自治会副会長)
- 委 員 西 村 功 (香美町連合自治会副会長)
- 委 員 今 井 雄 治 (香美町副町長)
- 委 員 中 野 肇 (美方郡広域事務組合消防長)
- 委 員 今 後 武 司 (香美町消防団長)
- 委 員 磯 田 啓 介 (香美町消防団香住支団長)
- 委 員 石 井 勇 (香美町消防団村岡支団長)
- 委 員 邊 見 八 郎 (香美町消防団小代支団長)

消防団組織及び定数の見直し

組織		現状												
名称等	担当区域	定数												
		団長	副団長		分団長		副分団長	部長	班長	団員		計		
			支団長	副支団長	本部分団長	分団長				団員	機能別団員			
本部	香美町全域	1	3	8									12	
1本部		1	3	8	0	0	0	0	0	0	0	0	12	
支団本部	香住区全域		(1)	(3)	7								7	
香住特設分団	第1部					1	1	1	2				18	26
	第2部							1	2					
香住第1分団	第1部 境・一日市				1	1	1	2	28				33	
香住第2分団	第1部 若松				1	1	1	2	35			43		
	第2部 香住						1	2						
香住第3分団	第1部 西香住				1	1	1	2	29		40			
	第2部 七日市			1			2							
	第3部 駅前			1			2							
香住第4分団	第1部 森				1	1	1	2	21		32			
	第2部 守柄・加鹿野			1			2							
	第3部 間室・油良			1			2							
香住第5分団	第1部 矢田				1	1	1	2	18		26			
	第2部 下浜			1			2							
余部分団	第1部 市午・梶原				1	1	1	2	35	8	57			
	第2部 浜			1			2							
	第3部 西・御崎			1			2							
	第4部 鑑			1			2							
柴山分団	第1部 沖浦				1	1	1	2	30	41				
	第2部 上計			1			2							
	第3部 浦上			1			2							
佐津分団	第1部 無南垣				1	1	1	2	30	44				
	第2部 訓谷			1			2							
	第3部 奥安木・浜安木			1			2							
	第4部 相谷			1			2							
奥佐津分団	第1部 九斗・米地・丹生地				1	1	1	2	34	8	56			
	第2部 西下岡・下岡・土生・本見塚			1			2							
	第3部 上岡・隼人			1			2							
	第4部 畑・大梶・三川			1			2							
長井第1分団	第1部 三谷				1	1	1	2	21	4	36			
	第2部 大谷			1			2							
	第3部 大野			1			2							
長井第2分団	第1部 小原				1	1	1	2	19	4	34			
	第2部 中野・藤			1			2							
	第3部 八原			1			2							
12分団	34部	0	0	0	7	12	12	34	68	318	24	475		

組織		見直し後												
名称等	担当区域	定数												
		団長	副団長		分団長		副分団長	部長	班長	団員		計		
			支団長	副支団長	本部分団長	分団長				団員	機能別団員			
本部	香美町全域	1	3	8									12	
1本部		1	3	8	0	0	0	0	0	0	0	0	12	
支団本部	香住		(1)	(3)	7								7	
香住特設分団	第1部					1	1	1	2				18	26
	第2部							1	2					
香住第1分団	第1部 境・一日市				1	1	1	2	28				33	
香住第2分団	第1部 若松				1	1	1	2	35		43			
	第2部 香住						1	2						
香住第3分団	第1部 西香住				1	1	1	2	29		40			
	第2部 七日市			1			2							
	第3部 駅前			1			2							
香住第4分団	第1部 森				1	1	1	2	21		32			
	第2部 守柄・加鹿野			1			2							
	第3部 間室・油良			1			2							
香住第5分団	第1部 矢田				1	1	1	2	18		26			
	第2部 下浜			1			2							
余部分団	第1部 市午・梶原・浜				1	1	1	2	35	8	57			
	第2部 西・御崎			1			2							
	第3部 鑑			1			2							
	第4部													
柴山分団	第1部 沖浦				1	1	1	2	30	41				
	第2部 上計			1			2							
	第3部 浦上			1			2							
佐津分団	第1部 無南垣				1	1	1	2	30	44				
	第2部 訓谷			1			2							
	第3部 奥安木・浜安木・相谷			1			2							
	第4部													
奥佐津分団	第1部 九斗・米地・丹生地・西下岡・下岡・土生・本見塚				1	1	1	2	34	8	50			
	第2部 上岡・隼人・畑・大梶・三川			1			2							
長井第1分団	第1部 三谷				1	1	1	2	21	4	36			
	第2部 大谷			1			2							
	第3部 大野			1			2							
長井第2分団	第1部 小原				1	1	1	2	19	4	34			
	第2部 中野・藤			1			2							
	第3部 八原			1			2							
12分団	30部	0	0	0	7	12	12	30	60	306	32	459		

消防団組織及び定数の見直し

		現状										
組織		定数										
名称等	担当区域	団長	副団長		分団長		副分団長	部長	班長	団員		計
			支団長	副支団長	本部分団長	分団長				団員	機能別団員	
村岡支団本部	村岡区全域		(1)	(3)	6							6
村岡特設第1分団	村岡地区全域(大字村岡)					1	1	1	1	14		18
村岡特設第2分団	兔塚地区全域(福岡)					1	1	1	1	12		16
村岡特設第3分団	射添地区全域(味取・原)					1	1	1	1	12		16
村岡第1分団	村岡・鹿田部	大字村岡・鹿田 用野 大糠・光陽						1	2			
	用野部		1	1			1	1	16			
	大糠・光陽部						1	2				
村岡第2分団	相田・神坂部	相田・神坂 萩山・板仕野				1	1	1	2			
	萩山・板仕野部						1	2	19		27	
村岡第3分団	高井・寺河内部	高井・寺河内 耀山・市原				1	1	1	2			
	耀山・市原部						1	2	22		30	
村岡第4分団	八井谷・大野部	八井谷・大野 口大谷・中大谷 大笹				1	1	1	2			
	口大谷・中大谷部						1	2	29		39	
	大笹部						1	1				
村岡第5分団	森脇・黒田部	高坂・池ヶ平・和池 森脇・黒田				1	1	1	2			
	高坂・池ヶ平・和池部						1	3	21		30	
村岡第6分団	宿部	宿 日影・作山				1	1	1	1			
	日影・作山部						1	2	17		24	
村岡第7分団	入江・和田・小城部	入江・和田・小城 和佐父・丸味・川会				1	1	1	2			
	和佐父・丸味・川会部						1	3	23		32	
村岡第8分団	長板部	長板 熊波・祖岡				1	1	1	1			
	熊波・祖岡部						1	2	21		28	
村岡第9分団	高津・長須部	高津・長須 長瀬・境 山田						1	2			
	長瀬・境部		1	1			1	2	27		37	
	山田部						1	1				
12分団	21部	0	0	0	6	12	12	24	42	233	0	329

		見直し後										
組織		定数										
名称等	担当区域	団長	副団長		分団長		副分団長	部長	班長	団員		計
			支団長	副支団長	本部分団長	分団長				団員	機能別団員	
村岡支団本部	村岡区全域		(1)	(3)	6							6
村岡特設第1分団	特設分団を廃止し普通分団と統合											
村岡特設第2分団	特設分団を廃止し普通分団と統合											
村岡特設第3分団	特設分団を廃止し普通分団と統合											
村岡第1分団	村岡部	大字村岡 用野・鹿田 大糠・光陽							1	2		
	用野・鹿田部		1	1			1	2	32		43	
	大糠・光陽部						1	2				
村岡第2分団	相田・神坂部	相田・神坂 萩山・板仕野				1	1	1	2			
	萩山・板仕野部						1	2	16		24	
村岡第3分団	高井・寺河内部	高井・寺河内 耀山・市原				1	1	1	2			
	耀山・市原部						1	2	20		28	
村岡第4分団	福岡部	福岡 八井谷・大野				1	1	1	1			
	八井谷・大野部						1	2	21		28	
村岡第5分団	口大谷・中大谷部	口大谷・中大谷 大笹				1	1	1	2			
	大笹部						1	1	20		27	
村岡第6分団	森脇・黒田部	高坂・池ヶ平・和池 森脇・黒田				1	1	1	2			
	高坂・池ヶ平・和池部						1	3	17		26	
村岡第7分団	宿部	宿 日影・作山				1	1	1	1			
	日影・作山部						1	2	17		24	
村岡第8分団	入江・和田・小城部	入江・和田・小城 和佐父・丸味・川会				1	1	1	3			
	和佐父・丸味・川会部						1	3	20		30	
村岡第9分団	長板部	長板 熊波・祖岡				1	1	1	1			
	熊波・祖岡部						1	2	17		24	
村岡第10分団	高津・長須部	高津・長須 味取・原 長瀬・山田・境						1	2			
	味取・原部		1	1			1	2	33		45	
	長瀬・山田・境部						1	3				
10分団	22部	0	0	0	6	10	10	22	44	213	0	305

村岡支団

消防団組織及び定数の見直し

		現状											
組織		定数											
名称等	担当区域	団長	副団長		分団長		副分団長	部長	班長	団員		計	
			支団長	副支団長	本部分団長	分団長				団員	機能別団員		
小代支団本部	小代区全域		(1)	(3)	5							5	
小代特設第1分団	第1部 秋岡				1	1	1	1	1	19		23	
小代特設第2分団	第1部 野間谷・久須部・大谷・城山・熱田				1	1	1	1	3	26		32	
小代第1分団	第1部 神場							1	1				
	第2部 広井				1	1		1	1	12	4	24	
	第3部 水間・猪之谷							1	1				
小代第2分団	第1部 実山							1	1				
	第2部 平野				1	1		1	1	12	4	24	
	第3部 茅野							1	1				
小代第3分団	第1部 新屋				1	1	1	1	10	4	18		
小代第4分団	第1部 東垣・佐坊・鍛冶屋				1	1	1	1	12	4	20		
小代第5分団	第1部 貫田				1	1		1	1	14	4	24	
	第2部 忠宮							1	1				
小代第6分団	第1部 神水・石寺				1	1	1	1	19	4	27		
8分団	13部	0	0	0	5	8	8	13	15	124	24	197	
計	32分団	68部	1	3	8	18	32	32	71	125	675	48	1,013
差引													

		見直し後											
組織		定数											
名称等	担当区域	団長	副団長		分団長		副分団長	部長	班長	団員		計	
			支団長	副支団長	本部分団長	分団長				団員	機能別団員		
小代支団本部	小代区全域		(1)	(2)	4							4	
小代第1分団	第1部 小代区全域(秋岡)				1	1	1	1	1	19		23	
小代第2分団	第1部 小代区全域(野間谷・久須部・大谷・城山・熱田)				1	1	1	1	3	26		32	
小代第3分団	第1部 神場・広井・水間・猪之谷							1	1	27	8	41	
	第2部 神水・石寺							1	1				
小代第4分団	第1部 実山・平野・茅野				1	1		1	1	23	8	37	
	第2部 新屋							1	1				
小代第5分団	第1部 東垣・佐坊・鍛冶屋							1	1	20	8	34	
	第2部 貫田・忠宮							1	1				
5分団	8部	0	0	0	4	5	5	8	10	115	24	171	
計	27分団	60部	1	3	8	17	27	27	60	114	634	56	947
差引	△ 5分団	△ 8部	0	0	0	△ 1	△ 5	△ 5	△ 11	△ 11	△ 41	8	△ 66

配備車両等の見直し

資料 2

【現状】

分団名等	区分	ポンプ型式等					
		経過年数	級別	メーカー	型式		
本部	指揮車	-	-	-	-	-	
香住特設分団	第1部(香住区全域)	ポンプ車	15年	A-2	-	-	-
	第2部(香住区全域)	ポンプ車	20年	A-2	-	-	-
香住第1分団	第1部(境・一日市) 一日市	積載車	12年	B-2	シバウラ	SF756ZX	水冷
香住第2分団	第1部(若松) 若松	積載車	18年	B-2	シバウラ	TF745M	空冷
	第2部(香住) 香住	積載車 軽	18年	B-3	トーハツ	VC62PRO	水冷
香住第3分団	第1部(西香住)	-	-	-	-	-	-
	第2部(七日市)	-	-	-	-	-	-
	第3部(駅前) 駅前	積載車	1年	B-2	シバウラ	FF500ZXi	水冷
香住第4分団	第1部(森) 森	積載車	16年	B-2	シバウラ	SF756MZ	水冷
	第2部(守柄・加鹿野) 守柄	小型ポンプ	0年	B-2	シバウラ	FK500	水冷
	第3部(間室・油良) 油良	小型ポンプ	19年	B-3	シバウラ	TF640M	空冷
香住第5分団	第1部(矢田)	-	-	-	-	-	-
	第2部(下浜) 下浜	積載車	16年	B-2	シバウラ	SF756MZ	水冷
余部分団	第1部(市午・梶原) 市午	小型ポンプ	23年	B-3	シバウラ	TF35MES	空冷
	第2部(浜) 浜	積載車	13年	B-2	シバウラ	SF756ZX	水冷
	第3部(西・御崎) 西	積載車 軽	6年	B-2	シバウラ	SF756MZ	水冷
	第4部(鎧) 鎧	小型ポンプ	11年	B-2	シバウラ	SF756MZ	水冷
柴山分団	第1部(沖浦)	小型ポンプ	7年	B-2	シバウラ	SF756MZ	水冷
	第2部(上計)	積載車	12年	B-2	シバウラ	SF756ZX	水冷
	第3部(浦上)	小型ポンプ	17年	B-3	シバウラ	SF656MZ	水冷
佐津分団	第1部(無南垣)	小型ポンプ	7年	B-2	シバウラ	SF756MZ	水冷
	第2部(訓谷)	積載車	11年	B-2	シバウラ	SF756ZX	水冷
	第3部(奥安木・浜安木) 浜安木	積載車 軽	7年	B-2	ラビット	Fi8000AS	水冷
	第4部(相谷)	小型ポンプ	10年	B-2	シバウラ	SF756MZ	水冷
奥佐津分団	第1部(九斗・米地・丹生地) 丹生地	積載車 軽	6年	B-2	シバウラ	SF756MZ	水冷
	第2部(下岡・西下岡・土生・本見塚) 下岡	積載車	11年	B-2	シバウラ	SF756ZX	水冷
	第3部(隼人・上岡) 上岡	積載車 軽	3年	B-2	シバウラ	FK500	水冷
	第4部(畑・大梶・三川) 畑	積載車	18年	B-2	シバウラ	TF745M	空冷
長井第1分団	第1部(三谷)	小型ポンプ	13年	B-2	シバウラ	SF756MZ	水冷
	第2部(大谷)	積載車	18年	B-2	シバウラ	TF745M	空冷
	第3部(大野)	小型ポンプ	14年	B-2	シバウラ	SF756MZ	水冷
長井第2分団	第1部(小原)	積載車	10年	B-2	シバウラ	SF756AZ	水冷
	第2部(中野・藤) 中野	小型ポンプ	13年	B-2	シバウラ	SF756MZ	水冷
	第3部(八原)	小型ポンプ	12年	B-2	シバウラ	SF756MZ	水冷



【見直し後】

分団名等	区分	ポンプ型式等					
		経過年数	級別	メーカー	型式		
本部	指揮車	-	-	-	-	-	
香住特設分団	第1部(香住区全域)	ポンプ車	15年	A-2	-	-	-
	第2部(香住区全域)	ポンプ車	20年	A-2	-	-	-
香住第1分団	第1部(境・一日市) 一日市	積載車	12年	B-2	シバウラ	SF756ZX	水冷
香住第2分団	第1部(若松) 若松	積載車	18年	B-2	シバウラ	TF745M	空冷
	第2部(香住) 香住	積載車 軽	18年	B-3	トーハツ	VC62PRO	水冷
香住第3分団	第1部(西香住)	-	-	-	-	-	-
	第2部(七日市)	-	-	-	-	-	-
	第3部(駅前) 駅前	積載車	1年	B-2	シバウラ	FF500ZXi	水冷
香住第4分団	第1部(森) 森	積載車	16年	B-2	シバウラ	SF756MZ	水冷
	第2部(守柄・加鹿野) 守柄	小型ポンプ	0年	B-2	シバウラ	FK500	水冷
	第3部(間室・油良) 油良	小型ポンプ	19年	B-3	シバウラ	TF640M	空冷
香住第5分団	第1部(矢田)	-	-	-	-	-	-
	第2部(下浜) 下浜	積載車	16年	B-2	シバウラ	SF756MZ	水冷
余部分団	第1部(市午・梶原・浜) 浜	積載車	13年	B-2	シバウラ	SF756ZX	水冷
	第2部(西・御崎) 西	積載車 軽	6年	B-2	シバウラ	SF756MZ	水冷
	第3部(鎧) 鎧	小型ポンプ	11年	B-2	シバウラ	SF756MZ	水冷
柴山分団	第1部(沖浦)	小型ポンプ	7年	B-2	シバウラ	SF756MZ	水冷
	第2部(上計)	積載車	12年	B-2	シバウラ	SF756ZX	水冷
	第3部(浦上)	小型ポンプ	17年	B-3	シバウラ	SF656MZ	水冷
佐津分団	第1部(無南垣)	積載車 軽	7年	B-2	シバウラ	SF756MZ	水冷
	第2部(訓谷)	積載車	11年	B-2	シバウラ	SF756ZX	水冷
	第3部(奥安木・浜安木・相谷) 浜安木	積載車 軽	7年	B-2	ラビット	Fi8000AS	水冷
奥佐津分団	第1部(九斗・米地・丹生地・西下岡・下岡・土生・本見塚) 下岡	積載車	6年	B-2	シバウラ	SF756ZX	水冷
	第2部(隼人・上岡・畑・大梶・三川) 畑	積載車 軽	3年	B-2	シバウラ	FK500	水冷
長井第1分団	第1部(三谷)	小型ポンプ	13年	B-2	シバウラ	SF756MZ	水冷
	第2部(大谷)	積載車	18年	B-2	シバウラ	TF745M	空冷
	第3部(大野)	小型ポンプ	14年	B-2	シバウラ	SF756MZ	水冷
長井第2分団	第1部(小原)	積載車	10年	B-2	シバウラ	SF756AZ	水冷
	第2部(中野・藤) 中野	小型ポンプ	13年	B-2	シバウラ	SF756MZ	水冷
	第3部(八原)	小型ポンプ	12年	B-2	シバウラ	SF756MZ	水冷

香住支団

香住支団

配備車両等の見直し

【現状】

分団名等	区分	ポンプ型式等						
		経過年数	級別	メーカー	型式			
本部	指揮車	-	-	-	-			
村岡特設第1分団 (村岡地区全域(大字村岡))	ポンプ車	11年	A-2	-	-			
村岡特設第2分団 (兎塚地区全域(福岡))	福岡	ポンプ車	2年	A-2	-			
村岡特設第3分団 (射添地区全域(味取・原))	味取	ポンプ車	1年	A-2	-			
村岡第1分団	村岡・鹿田部	積載車	8年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷		
	用野部	小型ポンプ	9年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷		
	大糠・光陽部	光陽	積載車	軽	9年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷
村岡第2分団	相田・神坂部	神坂	積載車	6年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷	
	萩山・板仕野部	萩山	積載車	軽	8年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷
村岡第3分団	高井・寺河内部	高井	積載車	軽	10年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷
	耀山・市原部	市原	積載車	7年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷	
村岡第4分団	八井谷・大野部	八井谷	積載車	軽	10年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷
	口大谷・中大谷部	口大谷	積載車	軽	8年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷
	大笹部	積載車	6年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷		
村岡第5分団	森脇・黒田部	黒田	積載車	軽	8年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷
	高坂・池ヶ平・和池部	和池	積載車	軽	14年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷
村岡第6分団	宿部	積載車	軽	7年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷	
	日影・作山部	日影	積載車	13年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷	
	作山	小型ポンプ	13年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷		
村岡第7分団	入江・和田・小城部	和田	積載車	軽	17年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷
	和佐父・丸味・川会部	川会	積載車	9年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷	
村岡第8分団	長板部	積載車	7年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷		
	熊波・相岡部	相岡	積載車	軽	1年	B-2	シバウラ FK500	水冷
村岡第9分団	高津・長須部	高津	積載車	軽	10年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷
	長瀬・境部	長瀬	積載車	軽	7年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷
	山田部	積載車	軽	3年	B-2	シバウラ FK500	水冷	



【見直し後】

分団名等	区分	ポンプ型式等						
		経過年数	級別	メーカー	型式			
本部	指揮車	-	-	-	-			
村岡第1分団	村岡部	村岡	ポンプ車	A-2	-	-		
	用野・鹿田部	村岡	積載車	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷		
	大糠・光陽部	光陽	小型ポンプ	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷		
村岡第2分団	相田・神坂部	神坂	積載車	軽	6年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷
	萩山・板仕野部	萩山	積載車	軽	8年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷
村岡第3分団	高井・寺河内部	高井	積載車	軽	10年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷
	耀山・市原部	市原	積載車	7年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷	
村岡第4分団	福岡部	福岡	ポンプ車	2年	A-2	-	-	
	八井谷・大野部	八井谷	積載車	軽	10年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷
村岡第5分団	口大谷・中大谷部	口大谷	積載車	軽	8年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷
	大笹部	積載車	6年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷		
村岡第6分団	森脇・黒田部	黒田	積載車	軽	8年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷
	高坂・池ヶ平・和池部	和池	積載車	軽	14年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷
村岡第7分団	宿部	積載車	軽	7年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷	
	日影・作山部	日影	積載車	13年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷	
	作山	小型ポンプ	13年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷		
村岡第8分団	入江・和田・小城部	和田	積載車	軽	17年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷
	和佐父・丸味・川会部	川会	積載車	9年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷	
村岡第9分団	長板部	積載車	7年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷		
	熊波・相岡部	相岡	積載車	軽	1年	B-2	シバウラ FK500	水冷
村岡第10分団	高津・長須部	高津	積載車	軽	10年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷
	味取・原部	味取	ポンプ車	1年	A-2	-	-	
	長瀬・山田・境部	長瀬	積載車	軽	7年	B-2	シバウラ SF756MZ	水冷
	山田	積載車	軽	3年	B-2	シバウラ FK500	水冷	

配備車両等の見直し

資料 2

【現状】

分団名等	区分	ポンプ型式等			
		経過年数	級別	メーカー	型式
本部	指揮車	—	—	—	—
小代特設第1分団 第1部小代区全域(秋岡)	ポンプ車	3年	A-2	—	—
小代特設第2分団 第1部(小代区全域(野間谷・久須部・大谷・城山・熱田)) 大谷	ポンプ車	9年	A-2	—	—
小代第1分団	第1部(神場)	7年	B-2	シバウラ	SF756MZ 水冷
	第2部(広井)	8年	B-2	ラビット	Fi8000 水冷
	第3部(水間)	15年	B-2	ラビット	P555DAN 水冷
小代第2分団	第1部(実山)	18年	B-2	ラビット	P555A 水冷
	第2部(平野)	19年	B-2	ラビット	P555S 水冷
	第3部(茅野)	9年	B-2	ラビット	P555DAN 水冷
小代第3分団	新屋部	15年	B-2	ラビット	P555DAN 水冷
小代第4分団	第1部(東垣・佐坊・鍛冶屋) 東垣	8年	B-2	ラビット	Fi8000 水冷
小代第5分団	第1部(貫田)	21年	B-2	ラビット	P555S 水冷
	第1部(忠宮)	20年	B-2	ラビット	P555S 水冷
小代第6分団	第1部(神水・石寺) 神水	7年	B-2	シバウラ	SF756MZ 水冷



【見直し後】

分団名等	区分	ポンプ型式等			
		経過年数	級別	メーカー	型式
本部	指揮車	—	—	—	—
小代第1分団 第1部(秋岡) 秋岡	ポンプ車	3年	A-2	—	—
小代第2分団 第1部(野間谷・久須部・大谷・城山・熱田) 大谷	ポンプ車	9年	A-2	—	—
小代第3分団	第1部(神場・広井・水間・猪之谷) 水間	7年	B-2	シバウラ	SF756MZ 水冷
	第2部(神水・石寺) 神水	7年	B-2	シバウラ	SF756MZ 水冷
小代第4分団	第1部(実山・平野・茅野) 茅野	9年	B-2	ラビット	P555DAN 水冷
	第2部(新屋) 新屋	8年	B-2	ラビット	Fi8000 水冷
小代第5分団	第1部(東垣・佐坊・鍛冶屋) 東垣	8年	B-2	ラビット	Fi8000 水冷
	第2部(貫田・忠宮) 貫田	21年	B-2	ラビット	P555S 水冷
	忠宮	1年	B-2	シバウラ	FK500 水冷

消防団装備の見直し

現 行

区分	現 行		
	装備品名	配備数等	総数
制服等	制服（甲種）	団長・副団長・本部分団長に1着	30
	制帽	団長・副団長・本部分団長に1着	30
	活動服	基本団員に1着	965
	アポロキャップ	基本団員に1個	965
	法被	機能別団員に1着	48
安全帽等	安全帽	全団員数に相当する数	1,013
	長靴	機能別団員に1足	48
	雨衣	基本団員に1着	965
	救助用半長靴	基本団員に1足	965
	防塵マスク	全団員数に相当する数	1,013
	耐切創性手袋	全団員数に相当する数	1,013
	救命胴衣	車両乗車定員数に相当する数	264
防火衣一式	防火衣	ポンプ車に4着、積載車・軽積載車・小型ポンプに2着	150
	防火帽	安全帽で代用	—
	防火手袋	ポンプ車に4双、積載車・軽積載車・小型ポンプに2双	150
	防火用長靴	救助用半長靴で代用	—
携帯用無線機	携帯用無線機	団長・副団長・本部分団長に1台	30
車載用無線機等	車載用無線機	全車両に1台	53
その他の情報関連機器			
火災鎮圧用器具			
給水器具	吸管（ストレーナー等含む）	ポンプ車・積載車に2本、軽積載車・小型ポンプに1本	95
	補助吸管	ポンプ車に2本、積載車に1本	32
	吸管枕木	ポンプ車に2個、積載車・軽積載車・小型ポンプに1個	75
	吸管バンド	積載車・軽積載車・小型ポンプに1組	63
放水器具	ホース	ポンプ車に22本、積載車に14本、軽積載車に10本、小型ポンプに10本	842
	中継用媒介金具	積載車・軽積載車・小型ポンプに1個	63
	管鎗	ポンプ車に3本、積載車・軽積載車に2本、小型ポンプに1本	125
	噴霧ノズル	ポンプ車に3個、積載車・軽積載車に2個、小型ポンプに1個	125
	分岐器	ポンプ車に2個、積載車・軽積載車・小型ポンプに1個	75
	ホースブリッジ	ポンプ車に2組、積載車・軽積載車・小型ポンプに1組	75
	ホース背負器	ポンプ車に2個、積載車・軽積載車に1個	56
	加納式ホースカー	ポンプ車に1台	6
	消火栓用開閉金具（地上式用）	ポンプ車・積載車・軽積載車・小型ポンプに1個	69
	消火栓用開閉金具（地下式用）	ポンプ車・積載車・軽積載車に1個	50
	スタンドパイプ	ポンプ車・積載車・軽積載車に1本	50
	防火水槽蓋用開閉金具	ポンプ車・積載車・軽積載車・小型ポンプに1組	69

見直し後

区分	見直し後		
	装備品名	配備数等	総数
制服等	制服（甲種）	団長・副団長・本部分団長に1着	29
	制帽	団長・副団長・本部分団長に1着	29
	活動服	全団員に相当する数	947
	アポロキャップ	全団員に相当する数	947
安全帽等	安全帽	全団員数に相当する数	947
	長靴	機能別団員に1足	56
	雨衣	基本団員に1着	891
	救助用半長靴	基本団員に1足	891
	防塵マスク	全団員に相当する数	947
	耐切創性手袋	全団員に相当する数	947
	救命胴衣	車両乗車定員数に相当する数	264
防火衣一式	防火衣	ポンプ車に4着、積載車・軽積載車・小型ポンプに2着	136
	防火帽	安全帽で代用	—
	防火手袋	ポンプ車に4双、積載車・軽積載車・小型ポンプに2双	136
	防火用長靴	救助用半長靴で代用	—
携帯用無線機	携帯用無線機	団長・副団長・本部分団長に1台	29
車載用無線機等	車載用無線機	全車両に1台	52
その他の情報関連機器	トランシーバー	団長・副団長・本部分団長・分団長に1台	56
火災鎮圧用器具			
給水器具	吸管（ストレーナー等含む）	ポンプ車・積載車に2本、軽積載車・小型ポンプに1本	88
	補助吸管	ポンプ車に2本、積載車に1本	34
	吸管枕木	ポンプ車に2個、積載車・軽積載車・小型ポンプに1個	68
	吸管バンド	積載車・軽積載車・小型ポンプに1組	54
放水器具	ホース	ポンプ車に22本、積載車に14本、軽積載車に10本、小型ポンプに10本	774
	中継用媒介金具	積載車・軽積載車・小型ポンプに1個	54
	管鎗	ポンプ車に3本、積載車・軽積載車に2本、小型ポンプに1本	117
	噴霧ノズル	ポンプ車に3個、積載車・軽積載車に2個、小型ポンプに1個	117
	分岐器	ポンプ車に2個、積載車・軽積載車・小型ポンプに1個	68
	ホースブリッジ	ポンプ車に2組、積載車・軽積載車・小型ポンプに1組	68
	ホース背負器	ポンプ車に2個、積載車・軽積載車に1個	56
	加納式ホースカー	ポンプ車に1台	7
	消火栓用開閉金具（地上式用）	ポンプ車・積載車・軽積載車・小型ポンプに1個	61
	消火栓用開閉金具（地下式用）	ポンプ車・積載車・軽積載車に1個	49
	スタンドパイプ	ポンプ車・積載車・軽積載車に1本	49
	防火水槽蓋用開閉金具	ポンプ車・積載車・軽積載車・小型ポンプに1組	61



消防団装備の見直し

現 行

区分	現 行		
	装備品名	配備数等	総数
破壊器具その他	はしご	ポンプ車・積載車・軽積載車に1台	50
	とび口	ポンプ車・積載車・軽積載車に2本、小型ポンプに1本	119
	剣先スコップ	ポンプ車・積載車・軽積載車に1丁	50
	金てこ（パール）	ポンプ車・積載車・軽積載車に1丁	50
	両口ハンマー	ポンプ車・積載車・軽積載車に1丁	50
	ボルトクリッパー	ポンプ車・積載車・軽積載車に1丁	50
	レンジャーロープ	ポンプ車・積載車に1巻	26
	分団等に配備する器具		
避難誘導用器具	携帯拡声器	ポンプ車・積載車・軽積載車・小型ポンプに1個	69
	警戒用ロープ	ポンプ車・積載車・軽積載車・小型ポンプに1巻	69
夜間活動用器具	投光器	ポンプ車・積載車に1台	26
	投光器（小型動力ポンプ用）	軽積載車・小型ポンプに1台	43
	発電機	ポンプ車・積載車に1台	26
	燃料携行缶	ポンプ車・積載車・軽積載車・小型ポンプに1缶	69
	合図灯（誘導灯）	ポンプ車に4本、積載車・軽積載車・小型ポンプに2本	150
	携帯ライト	ポンプ車・積載車・軽積載車に2個、小型ポンプに1個	119
	コードリール	ポンプ車・積載車に1個	26
	追加装備		
林野火災用器具	可搬式散水装置（背負式水のう）	ポンプ車・積載車に4個、軽積載車・小型ポンプに2個	190
	ウォーターチャージャー	ポンプ車に1個	6
水災用器具	土のう袋	ポンプ車・積載車・軽積載車・小型ポンプに50枚	3,450
	吸水土のう	ポンプ車に30枚、積載車に20枚	580



見直し後

区分	見直し後		
	装備品名	配備数等	総数
破壊器具その他	はしご	ポンプ車・積載車・軽積載車に1台	49
	とび口	ポンプ車・積載車・軽積載車に2本、小型ポンプに1本	110
	剣先スコップ	ポンプ車・積載車・軽積載車に1丁	49
	金てこ（パール）	ポンプ車・積載車・軽積載車に1丁	49
	両口ハンマー	ポンプ車・積載車・軽積載車に1丁	49
	ボルトクリッパー	ポンプ車・積載車・軽積載車に1丁	49
	レンジャーロープ	ポンプ車・積載車に1巻	27
	分団等に配備する器具		
避難誘導用器具	携帯拡声器	ポンプ車・積載車・軽積載車・小型ポンプに1個	61
	警戒用ロープ	ポンプ車・積載車・軽積載車・小型ポンプに1巻	61
夜間活動用器具	投光器	ポンプ車・積載車に1台	27
	投光器（小型動力ポンプ用）	軽積載車・小型ポンプに1台	34
	発電機	ポンプ車・積載車に1台	27
	燃料携行缶	ポンプ車・積載車・軽積載車・小型ポンプに1缶	61
	合図灯（誘導灯）	ポンプ車に4本、積載車・軽積載車・小型ポンプに2本	136
	携帯ライト	ポンプ車・積載車・軽積載車に2個、小型ポンプに1個	110
	コードリール	ポンプ車・積載車に1個	27
	ヘッドライト	全団員に相当する数	891
追加装備			
林野火災用器具	可搬式散水装置（背負式水のう）	ポンプ車・積載車に4個、軽積載車・小型ポンプに2個	176
	ウォーターチャージャー	ポンプ車に1個	7
水災用器具	土のう袋	ポンプ車・積載車・軽積載車・小型ポンプに50枚	3,050
	吸水土のう	ポンプ車に30枚、積載車に20枚	610